

あんず だより

2021

VOL.02

令和3年7月1日発行

- 新型コロナウイルスワクチン接種について 2
- 診療科のご紹介「脳神経外科」 3
- 「脳卒中」について 3
- 「てんかん」について 4
- 「頭部外傷」について 5
- 立体駐車場新築工事に伴う臨時駐車場のご案内 6
- 遥はるばると一集いし人々とともに 大西益太郎伝 その2 7
- 外来担当医一覧表 8



科野のムラ お田植えまつり (撮影・小針俊明)

診療科案内

- 内科
- 肝臓・消化器内科
- 腎臓内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌・代謝内科
- 消化器外科
- 肝臓・胆のう・膵臓外科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 泌尿器科
- 皮膚科
- 形成外科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科
- 人工透析センター



職員コロナワクチン接種

CHIKUMA CENTRAL HOSPITAL

TEL.026-273-1212 FAX.026-272-2991

URL <http://www.chikuma-chp.com>



千曲中央病院
ホームページ

新型コロナウイルスワクチン接種について



副院長 松本 晶博

まだまだ猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、諸外国に遅れて日本でもワクチン接種が開始されました。当院でも3月15日より医療従事者に対するワクチン接種が始まりました。当初は、いつワクチンが入荷するのかわからず、予定もずれにずれ込んでいましたが、最近はやっと軌道に乗り始め、高齢者施設でのワクチン接種も入院以外の方の接種も開始しております。ワクチンの副反応についても、2回目接種時の副反応が強く、接種した職員の3人に一人が接種した次の日に休んでしまうなど大変でしたが、解熱剤を準備しておくなど対処

法も慣れてきて、うまく対処できるようになってきております。千曲市でも連日ワクチン接種会場を設けて市職員総出で集団接種を行っております。医師会の先生方も休日を返上して市のワクチン接種に協力しています。なんとか早く、市民の方にワクチンを接種できるように、当院でも、今後も千曲市と連携して対応していく予定でいます。

現在、我が国で認可されているワクチンは3種類あります。当院では最初に認可されたファイザー社製のワクチンを使用しています。後で認可されたワクチンには、モデルナ社製のワクチンとアストラゼネカ社製のワクチンがあります。ファイザー社とモデルナ社のワクチンはmRNAワクチンであり、アストラゼネカ社のワクチンはベクターワクチンと呼ばれるものです。いずれも、これまでのインフルエンザワクチンとは異なり、ウイルスの遺



伝子を用いた新しいタイプのワクチンです。そのため、副反応が多くあります。接種して30分以内に現れるアナフィラキシーと呼ばれるアレルギー反応では、場合によって血圧が低下して、生命的に危険になる場合があります。特に、欧米と比べてアジアではアナフィラキシーの反応が多く報告されています。以前に、何らかのアレルギー反応を起こした方で、2回目のワクチン接種の後に出る方が多いようですので、アレルギー体質の方

は接種後30分間様子を見るのが大切です。アナフィラキシーが生じた場合には、速やかに対処できるようにしております。また、ワクチン接種後の血栓症による死亡が報告されています。特にアストラゼネカ社のワクチンでは若い方の血栓症が報告されています。

ワクチンを接種して抗体ができ、ウイルスに感染しにくくなるには1回目の接種で約2週間、2回目の接種で約1週間かかります。そのため、6千人に1人はワクチン接種後も新型コロナウイルスに感染しています。感染した人の100人に1人は重症化して亡くられています。また、ウイルスが変化して変異株になると、感染力が強くなり、ワクチンが効かなくなる現象も起きています。ワクチン接種後も感染予防は重要ですので、注意が必要です。

早く新型コロナウイルスが駆逐され、以前のような日常生活が送れるようになることを切に願っています。

診療科のご紹介

脳神経外科

「脳卒中」について



脳神経外科部長 市川 昭道

脳卒中・脳腫瘍・頸椎疾患・てんかん・認知症など中枢神経全般にかかわる疾患を治療対象としておりますが、いずれの疾患も早期診断・早期治療が必要とされており、その中でも脳卒中は時間との戦いが重要視され、「Time is brain」ともいわれています。特にそれが重視されている脳梗塞

に関して今回お話しさせていただきます。

脳梗塞は、脳卒中の3/4を占め、残りの1/4は脳出血・くも膜下出血です。

そして脳梗塞は大きく3つに分けられます。①ラクナ梗塞(直径1cm以下の梗塞で、ごく細い動脈が詰まって起きるもの)、②アテローム血栓性脳梗塞(比較的大きな梗塞で、脳の太い動脈の閉塞

によるもの)、③心原性脳塞栓症(高齢化に伴う不整脈―心房細動―によるもの)です。①、②は高血圧・糖尿病・脂質異常症・喫煙が危険因子となっており、定期的な血圧チェック、血液検査がとて重要で、③に関しては健康診断などで心電図をチェックし、心房細動の早期発見に努める必要があります。いくつかのポイントを説明いたします。

当院にて脳神経外科病棟が開設されてから4半世紀が経過しました。徐々に市民の皆様にも認知され、長野市や坂城町などからも患者様が受診されるようになってきております。さらに2年前からは若手の飯島健太郎医師が赴任され、てんかんなど診療内容の充実が図られてきています。現在は、嘱託のベテランの斎藤隆史医師と共に3人で、午前・午後の外来診療を月曜から土曜まで、行っておりますので、どうぞもおかしいと思われたら早めの受診をお勧めいたします。

当脳神経外科では、頭部外傷・

A.《特異的な5つの症状》を知る

- 1. 突然の半身の脱力または感覚障害(手足のみ、顔の場合もあります)
2. 突然の言語障害
3. 突然の視覚異常(物が2重に見える、視野が欠ける)
4. 突然のふらつき、めまい
5. 突然の頭痛(経験したことのない、突然の激しい痛み)

B.《軽症脳梗塞、一過性脳虚血発作》を見逃さない

一過性脳虚血発作は24時間未満に症状が治ってしまうものである。一般には2~15分間くらいで改善してしまふが、放置すると約12~20%の方が3か月以内に脳梗塞を続発しますので、MRIなどの検査を受け、急性期脳梗塞に準じた治療を開始することが重要で

C.《どのような治療をするのか》

急性期の場合は、点滴による薬物治療で梗塞巣の拡大を防ぎ、徐々に内服薬に切り替えていきます。そして超早期からリハビリを開始します。15年前にはrt-PA(アルテプラゼ)による超急性期再灌流療法が確立され、発症から4.5時間以内での開始が良好な結果をもたらすと報告されています。更に10年ほど前からは、カテーテルによる血栓回収療法も開発され、rt-PAとの併用で優位に機能予後が改善しています。このような急性期の治療の恩恵に浴する患者さんは、全脳梗塞のわずか5%前後にとどまっており、原因として患者さんや家族の皆さんの緊急性に対する認識の低さが原因とされています。

慢性期には①、②は抗血小板薬を、③は抗凝固薬を再発予防として服薬していただきます。尚、自己判断での服薬中止は再発につながりますので、注意が必要です。更に高血圧症を中心とした生活習慣病の定期的検査を継続してください。後遺症が残存している患者さんも多くおられるので、退院されても特に半年間はリハビリ継続が非常に重要です。

D.《最後に》

脳梗塞は発症から可及的早期の受診(夜間・休日を問わず)が極めて重要で、治療開始が早ければ後遺症も軽減し、入院期間も短くて済みます。1分でも1時間でも早く受診してください。また、脳卒中は、アルツハイマー病に次いで2番目に多い認知症の原因疾患です。特に脳梗塞を繰り返しますとその危険性が高くなり、日常生活においては嚥下障害、誤嚥性肺炎の大きな原因になるといふことも記憶しておく必要があります。

「てんかん」について



脳神経外科副部長 飯島 健太郎

当院脳神経外科では地域支援病院として、幅広く脳神経疾患患者様を受け入れています。その中で私の専門分野の一つとして担当しております「てんかん」について大切な点を今回お伝えします。

「てんかん」という疾患は「生まれつきの病気」「子供の病気」「治ることはない」などのイメージが世間ではあると思います。しかしそのイメージはてんかんの一部を表しているものであり、むしろ多くは成人以降、特に高齢者になるほど多くなっていく疾患です。「てんかん」の原因には「遺伝(遺伝子)疾患」「脳卒中」「脳腫瘍」「脳外傷」「脳変性」「原因不明」など様々です。「遺伝(遺伝子)疾患」は主に乳児から幼少期に発症することが多く、そ

「頭部外傷」について



脳神経外科 斎藤 隆史

「頭を打つとバカになる」と昔から言われています。頭部は脳という重要な臓器の入れ物です。頭を打たないよう注意することになにより大切です。しかしどんなに注意していても頭を打ってしまうことがあります。そこで今回頭部外傷の解説と注意点などを取り上げました。代表的な重症頭部外傷は若年者では交通事故、高齢者では転倒、転落などです。若年者では予後良好のことがしばしばですが、高齢者では頭部打撲をきっかけに寝たきりになるなど予後不良なことが多く注意が必要です。

頭蓋骨骨折の代表は頭蓋骨にひびが入る線状骨折です。この場合は何もせずともやがて頭蓋骨はまた癒着し元に戻ります。しかし数時間後骨折部位から出血

れ以外は脳が傷ついたり変性することによりてんかんを発症します。長く人生を生きていくと事故に遭ったり脳梗塞になったりしますが、前述の後者の方(成人)が圧倒的にてんかんを発症する人数が多くなるのは必然です。「てんかん」という疾患はごくあり触れた疾患であり、「てんかん」を発症することは決して恥ずかしいことはありません。適切に治療を行なっていけば「発作」を起こす機会を減らすことができます。



てんかんの発作って？

てんかんの「発作」というと「けいれん」や「ひきつけ」と言った言葉が頭をよぎると思いますが、

が起こり、急性硬膜外血腫を合併することがあります。この際は緊急開頭術が必要となることがあるため頭蓋骨骨折の患者さんは必ず入院し、経過観察することが重要です。その他にも頭蓋底骨折、陥没骨折(Fig.1)など手術を必要とする頭蓋骨骨折もあります。

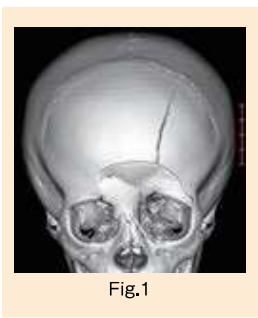


Fig.1

次に外傷性頭蓋内出血です。これには急性硬膜外出血と急性硬膜下出血とがあります。このうち急性硬膜外血腫は先ほど述べたように頭蓋内骨折に合併し出血するのがほとんどで脳は傷んでいないので早く対応できれば予後は良好です。一方急性硬膜下血腫(Fig.2)は脳表からの出血がほとんどで早めの対応が必要ですが、脳が傷んでいることが

確かに「わかりやすい発作症状」としてけいれんやひきつけはあります。しかしこれらは「発作」症状の一部なのです。ピクツとなつてよく物を落とす、急にボーッととして1分程度動かなくなる、突然意識が無くなるなどのエピソードも「発作」症状であったことがあります。意識がある状態であれば「おかしい」と思っただけで記憶がないので病院受診に至らないケースが多くあります。本人の記憶がない発作が起こった場合には、発作を目撃した方や家族が同伴されることをお勧めします。また「発作」は疲れている時、ストレスを感じている時、眠れなかった時に特に起こりやすいのでご注意ください。

てんかんの診断・治療

てんかんの診断には脳波検査をよく用います。しかし「脳波検査で異常波形が出るイコールてんかん」という訳ではありません。てんかんには様々なタイプがあり、てんかん診断を行う場合

ほとんどです。予後は硬膜外出血に比べ悪いのが一般的です。

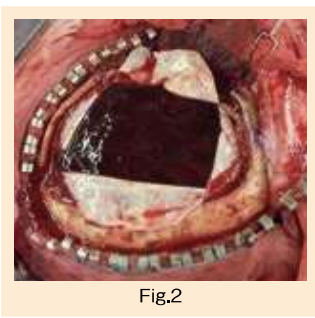


Fig.2

頭部打撲による脳挫傷は前頭葉と側頭葉に起こりやすく、この部位の脳が傷みます。(Fig.3) また特殊な脳挫傷として、びまん性軸索損傷があります。これは頭部を強く打ち、また回転力が加わることで神経細胞の軸索がいたる所で切れてしまう病態です。このタイプの脳挫傷は多くの場合、脳高次機能障害を合併し、いわゆる認知症になってしまいます。若い人でも起こりうるので、働き盛りの若い方が突然認知症になり社会生活も送れなくなるのがしばしばあります。二輪車ではヘルメットの着用、乗用

には必ず発作症状がいつ・どのようなタイミングで・どのような発作症状が・どれくらいの時間・どれくらいの頻度で・家族背景・既往歴などの聴取が必要です。脳波検査結果で確定できるでんかんは一部であり、あくまでも参考所見となります。診断したてんかんのタイプによって発作を抑える「抗てんかん薬」を使い分けますが、1〜3種類程度の範囲内で満足のいく発作頻度コントロールを探っていきます。しかし全ての発作がコントロールできる訳ではありません。満足のいく結果が得られない場合には「てんかん外科手術」も治療選択肢として挙げられます。このようにさらに進んだ治療についてもご相談を受け付けております。



車ではシートベルトの着用を徹底し、何よりも交通事故を起こさないことが重要です。



Fig.3

最後に子供の頭部外傷です。子供は遊んでいて頭部を打つことがしばしばあります。それは体に比べ頭が重いため転倒しやすいのです。高いところからの転落など、大きな事故では医療機関を受診しましょう。その際すぐ泣いたか否かは意識障害の有無に重要です。頭を強く打つたのにすぐに泣かないのは意識障害と考えた方がいいでしょう。医療機関を受診しない場合あるいは医療機関を受診し、異常がないと言われた場合も、受傷後一昼夜は様子をよく見て下さい。「ぐったりして顔色悪く、遊ぼうとしない」、「刺激しても

目を覚まさない、逆に暴れる、見当違いなことを言う、「ろれつが回らない、手足の力が入らない」、「頭痛がだんだん強くなり、嘔吐する」、「ひきつけを起こす、脈や呼吸がおかしい」のような異常に気づいたら直ぐに医療機関を受診しましょう。

また特に高齢者や飲酒家では頭を打ってから1〜3ヶ月して「頭痛」、「視力障害」、「物忘れ」、「手足に力が入りにくい」などの症状が出現することがあります。このような場合は慢性硬膜下血(Fig.4)と呼ばれ、頭部打撲後、次第に頭蓋内に血液が溜まって来ている可能性があります。頭部外傷後しばらくして前述のような症状が出現したら早めに医療機関を受診して下さい。



Fig.4

特定医療法人財団大西会 千曲中央病院 患者様臨時駐車場のご案内

立体駐車場新築工事をしています。

工事期間
令和3年 4月15日
～
令和3年 9月30日

立体駐車場建設に伴う 患者様用 臨時駐車場位置図



- P1 臨時駐車場 1 軽自動車 5台、普通車 24台
- P2 臨時駐車場 2 軽専用 13台
- P3 臨時駐車場 3 24台 (アメリカンドラッグ様向かい)
- P4 臨時駐車場 4 20台 (色米米様より西に40m右手)

当院では、患者様駐車場の狭あい化に伴い、現在の患者様駐車場に立体駐車場を建設することになりました。

工事期間中は駐車場がご利用できません。案内に従って臨時駐車場へお停めください。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。



立体駐車場完成予想図 (立駐部分約 155 台収容)

「遙(はる)びると集(あ)いし人々とともに 大西益太郎伝(その1)」



大西 益太郎 (1902-1989)

著者・清水 協 (1998年7月1日発行) より
千曲中央病院創始者 大西益太郎氏の伝記です。清水協氏の執筆により一九九六年七月一日に発刊されました。今後シリーズとして掲載いたしますので、ご愛読ください。

第一章 少年の頃

一 病弱と家庭の愛

病弱な子 ―誕生―

竹一郎と母との最初の子として生まれた益太郎は、何かと病気がちでひ弱な子だった。このため、心配した祖母のみねは、赤子の彼を背負って近くの神社に月参りにでかけ、初孫が無事育つことを祈ったという。その後、両親は次々に子宝に恵まれ、益太郎は男三人、女四人の兄妹の筆頭に立つことになる。

益太郎が生まれた明治三十五年は、日露戦争を二年後にひかえ、それに備えての日英同盟が結ばれた年だった。このため物つく頃は、ヨーロッパの列強・ロシアへの勝利の興奮が絶頂に達していた時期。「……さっさと逃げるはロシアの兵、死んでも尽くすは日本の兵……」そんな歌が、信州の片田舎の町の子供達の間でも盛んに歌われ、軍人になることが男の子達の一番の夢となったのである。そんな時代の空気をの中で、彼は少年期を過ごすことになる。

感受性と愛情

幼い頃、小柄でしかもひ弱きをそのまま引き

ずっていた彼は、しばしば近所の悪童達にいじめられた。また三番目の妹のよし子によれば、「非常に感受性の鋭い子」でもあったという。

「昔おじいさんから聞きましたが、兄は四五歳の頃、近所の家で骸骨の絵を見せられて、「おっかない、おっかない」と言っつてわんわん泣きながら逃げ帰ってきたことがあったぞうです」

こうした面は確かに、感受性の強さ、見ることが正しかったといえる。おそらくこの頃から益太郎の意識の奥には、病弱や生来の資質などに由来する、生きることへの不安や死に対する恐れなどが一、倍強い形で潜むようになっていた。こうしたものが、何かにつけ敏感な反応となつて現れることがあったのである。そしてこの種の感情は、その後の益太郎の心のあり方や生き方などにも深く関わっていることになる。

だが、はた目には臆病としか映らないこと多い。こうした心の部分は、悪童らのいじめを呼ぶ要素でもあった。実際、益太郎も後年、幼年時代や小学生の頃を回想して、「体も弱く気も弱く、いじめられっ放しでけんかもしませんでした」と語っている。しかも時代は日露戦争の勝利やそれに続く利権の獲得と、国を挙げて成功

に酔い、軍国的な気分が甚にまで蔓延し始めていた時期。講和への不満が生んだ日比谷焼き打ち事件にみられるように、民衆の間でも、勝利への奢りや攻撃的な人心が露となった時代だった。それはそのまま子供の世界にも反映し、益太郎の周りでも少年達は、戦争(こゝに陣取り合戦、剣術遊びと、体力・腕力にものをいわせる類の遊びに明け暮れていた。

そんな雰囲気の中では、益太郎のような子はそのままでも脇に追いやられ、歪んでしまい勝ちなもの。ましていじめられる身でもあれば、過敏な心も持ち合わせる彼のこと、後年見られた楽天性、爛漫さなど、この時すでに吹き飛んでいても不思議ではなかった。

だがそんな彼を救ったのは両親、祖父母であり、その後生まれた妹弟達も含めた家庭の温かさだった。月参りを欠かさなかったという祖母や母親が、何かと病氣勝ちな彼を庇い愛したのには言うまでもないが、加えて幸いだったのは、心優しい父竹一郎と、孫の良さを育むことのできる祖父高蔵の存在であった。特に祖父は、好きな本は暗記するまで読み、絵を描き始めればほとんど終日熱中し描き続けることもある孫に、何らかの素質の芽が潜んでいることに気付いていた。

「益太郎には良いところがある。伸ばせばきっと力になるはず」

そう思い気持ちを注ぐようになった祖父は、時々益太郎に童話や物語、伝記や簡単な算術の本なども買い与えるようになる。こうして家にもこもり勝ちの少年益太郎は、こうしたものに熱中する中で、それと知らずに長所を磨いていった。

また高蔵はしばしば、この可愛い孫を連れて外出した。そしてそんな中には、次のような出来事もあった。幼い益太郎の手を引いて、千曲川の対岸の八幡村の神社の祭りに出かけた時のことである。地域では大きな祭りとなつて、参道の両側にはさまざまな露店が立ち並んでいたのがあるが、そうした店の一角から、彼ら呼び止める声がかした。見るとそこには一人の易者がいて、こちらに向かい手招きしている。近づくと、小さな孫の顔を覗き込んで言った。

「この子はきつと出世する。それに何度も外国へ行くようになる」

それは当時、この種の商いの者達が客寄せに使う常套句の一つだったのかも知れなかった。しかし、どこか感じるところがあった祖父は、以来時々、その日の出来事を口にしたという。そしてそれは益太郎の心にも、ながしかの思いを植えつけずには置かなかった。

総領の基六

こうして益太郎は父母や祖父父母の愛情を糧に、育てていった。実際彼自身、幼時を振り返って次のように記している。

「あまり豊かでない家庭でしたが、長男として生まれたので特に可愛がられて、大事に育てられました。それで総領のジシロクでおおじと良し。何事も善意に解釈すると言ふ性格に育ちました」

一家にはその後、むつし、忠雄、ゆき子、平八郎、よし子、つね子と六人の子供達が、二、三年の間を置いて次々と生まれました。益太郎も成長するにつれ、多忙な両親を支える働き手にもなるのであるが、そうした中ではまた、家族との新たな絆も育まれていった。

(次号に続く)

あんずだより 令和三年七月一日発行 / 長野県千曲市杭瀬下五八番地 / 特定医療法人財団大西会千曲中央病院 / 発行責任者千曲中央病院理事長・院長大西禎彦 TEL 026-1273-1121 FAX 026-1272-1299

診療科	専門	月	火	水	木	金	土 AMのみ
内科	一般内科	安里(PM) 多田	植田 (AM) 久保田 (漢方外来) (受付15:00まで)	松本(史) (AM)		安里(AM) 須原(PM) 島田 (受付15:00まで)	安里
	消化器	宮林(AM) (新患のみ11:00~) 窪田(AM)	宮林(AM) 昭和大医師(PM)	窪田(AM) 昭和大医師(PM)	宮林 (AM肝臓外来/PM紹介のみ) 松本(晶)(PM)	長田(AM) (予約のみ11:00~) 松本(晶)(PM)	宮林・窪田 松本(晶)
	内分泌代謝	山内(PM)	久保田 (受付15:00まで)	横田	春日 (AM/PM予約のみ)	横田(PM) (受付15:00まで) 島田 (受付15:00まで)	
	腎臓	大西禎彦(PM)				大西禎彦(AM)	大西禎彦(AM)
	呼吸器						国際医療 福祉大医師
	循環器	山田(AM) (10:00~)	山田(AM)	東海 (AM/PM予約のみ) 太田(PM)	橋本(PM) (新患のみ) 東海(AM)	橋本(AM) 小山(PM)	
外科	一般外科	大西雄太郎 (AM)					大久保/長谷川
	消化器外科		長谷川(AM)			長谷川(AM)	
	肝胆膵外科		大久保(AM)			大久保(AM)	大久保 (臓器外来/予約制 第3・4週のみ)
整形外科	一般整形	小林 (受付16:00まで)	奥田 (受付16:00まで)	田中 (受付16:00まで)		江崎 (受付16:00まで)	信大医師
	膝・股関節	森岡 (9:30~/AM)		森岡 (9:30~/AM)		森岡 (PM予約のみ)	
	脊椎脊髄		矢澤(AM)		矢澤	矢澤(AM)	
脳神経外科		市川(AM) 飯島(PM)	市川(AM) 飯島(PM)	斎藤 飯島(AM)	市川(AM) 飯島(PM)	市川(AM)	飯島 (第1・3・5週のみ) 日赤医師
泌尿器科		逸見(AM)	逸見(AM)		逸見(AM)	逸見(AM)	逸見
皮膚科		今井 (受付15:00まで)	今井 (AM)	今井 (受付15:00まで)	今井 (受付15:00まで)		
形成外科			東京女子 医大医師 (AM)			東京女子 医大医師 (AM)	東京女子 医大医師 ※第4週のみ休診
歯科		大西聖彦・大西真理					

- 午前受付 8:00 ~ 12:00
午後受付 12:00 ~ 17:00
- 【午前診察】 9:00 ~
【午後診察】 14:00 ~ ※土曜日は午前中のみ
- 急患等でお待たせする場合がありますが、その際はご容赦ください。
- 休診日：日曜日・祝祭日、第2土曜、第3木曜、年末年始、7月1日(創立記念日)
- 医師の都合により急遽休診・変更となる場合がございますので、ご了承ください。
- 予約および予約変更の受付 月~金曜日 15:00 ~ 16:00 (歯科は除く)

緊急診察は24時間365日対応しております。緊急の場合はもちろん、不安を感じた時でも遠慮せずご連絡ください。TEL.026-273-1212

編集後記

当誌発刊日である7月1日は千曲中央病院創立記念日です。今年で当院は創立75周年を迎えます。これもひとえに、あたたかいご支援とご協力を賜っています地域の皆様をはじめ、関連医療機関・福祉施設等多くの方々、また質の高い医療・看護の実現のため日々研鑽・研修に励んでいる病院スタッフのおかげであり、心より感謝申し上げます。「あんずだより」では今後も病院の情報を分かりやすく丁寧に発信させて頂く所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。